



学校だより

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で

令和8年5月号

横浜市立谷本小学校

あいさつの出逢い

副校長 二瓶亜希子

新年度が始まって、3週間余りが過ぎました。新しい生活に慣れてきたところでしょうか。授業や休み時間、登下校の様子を見ていますと、子どもたちの表情が少し和らいできたように思います。

はじめまして。この春、谷本小学校に赴任してまいりました二瓶亜希子と申します。赴任して1か月。早朝、校舎内を巡回していますと、静かな空気に、うぐいすの澄んだ声が心地よく耳に入ります。校舎の外に出てみると、なんと学校敷地内に竹林や谷本の森があり、さらに樹々に囲まれた150段近くの階段を下りるとプールや二つ目のグラウンドがあることも分かり、驚嘆せずにはいませんでした。



やもトープの
鴨のつがい

谷本小の皆様にとってはおなじみの環境なのかもしれませんが、なんと恵まれなんとすてきな。この豊かな自然にわくわくしながら、子どもたちは、様々な活動や体験を重ね、心やからだを大きくしてきたのだらうと感じました。

着任の自己紹介で「私はあいさつをしてもらって幸せになります。」と子どもたちに話しました。あいさつとは出逢いの合図のようなもので、たった一言のあいさつから会話が広がることもあります。私は職員室にすることが多いので、例えば、初めての給食当番をする1年生とあいさつを交わせば、「並び方もあいさつも花丸だね。」という言葉で称賛の気持ちを伝えることができます。例えば、「失礼します。体育館の鍵を返しにきました。」「放送室の鍵を返しにきました。」などのあいさつとともに職員室にくる子には、「ご苦労様。ありがとう。」というねぎらいや感謝の気持ちを伝えるよい機会にもなりました。

また、この1か月、谷本小の子どもたちのいろいろなあいさつの仕方にも出合いました。元気のよい声でのあいさつ。目を合わせてのあいさつ。首をかしげるようにして会釈をしながらのあいさつ。笑顔付きで、ときには手を振りながらのあいさつ。どんなあいさつでも幸せな気分になります。過去、子どもたちに言われるとうれしい「あったか言葉」「ふわふわ言葉」などの言葉について訊いてみたところ、「おはよう」などのあいさつの言葉が挙げられることも少なくありませんでした。あいさつの言葉は、ほめる言葉や慰める言葉、応援する言葉とも少し異なるのですが、きっと相手から親しみをもたれている感覚が心地よいのではないのでしょうか。そしてその心地よさをもたらすパワーは、笑顔や会釈やその他の動作にも秘められているに違いありません。もし、声を出してのあいさつが苦手だと思う子がいたら、たとえ小さな声だったとしても、会釈だけだったとしても、「あなたは誰かを元気にすることができるよ。幸せにしているよ。」と伝えたいです。

さて、小中学校ブロックのスローガンは【笑顔であいさつ～自分を認め、相手を認め～】です。職員室前の廊下に掲示されているので、子どもたちや保護者の皆様も目にしたことがあるかもしれません。ご家庭や地域の皆様と手を携えて、あいさつで心をつなぐ谷本小の子どもたちを、共に育ててまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。